

# 中小企業景況調査報告書

2023年 1 ～ 3月期実績

2023年 4 ～ 6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。  
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2023年1～3月期の実績及び2023年4～6月期見通し

②調査期間：2023年2月16日～3月1日 ※調査時点は2023年3月1日

### (2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

### (3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別  
枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

### (4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	50	46	92.0%	小売業	86	78	90.7%
建設業	49	46	93.9%	サービス業	115	105	91.3%
				合計	300	275	91.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

### (5) DI=ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは50-20=(+)30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

## 2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※DI値のみ

業種	前年同期比		前期比					
	今期	来期見込	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 19.5	▲ 15.2	▲ 39.5	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 17.8	▲ 2.2
建設業	▲ 4.4	▲ 22.3	▲ 23.2	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 15.9	▲ 11.1
小売業	▲ 43.6	▲ 39.8	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 30.7
サービス業	▲ 30.7	▲ 26.0	▲ 51.6	▲ 16.5	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 20.2

### 3. 北海道内商工会地域の状況

#### 製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 4-6	R4. 7-9	R4. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	10.9	10.9	11.1	19.1	10.4	8.9	17.4
	不 変	58.7	63.0	60.0	55.4	60.4	64.4	63.0
	悪 化	30.4	26.1	28.9	25.5	29.2	26.7	19.6
	D・I	▲ 19.5	▲ 15.2	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 17.8	▲ 2.2
売上(加工)額	増 加	26.1	21.7	32.7	39.6	20.8	19.6	
	不 変	39.1	54.4	40.8	33.3	37.5	32.6	
	減 少	34.8	23.9	26.5	27.1	41.7	47.8	
	D・I	▲ 8.7	▲ 2.2	6.2	12.5	▲ 20.9	▲ 28.2	
資金繰り	好 転	2.2	4.5	4.2	2.1	4.3	2.3	
	不 変	82.2	79.6	66.6	76.6	65.9	79.5	
	悪 化	15.6	15.9	29.2	21.3	29.8	18.2	
	D・I	▲ 13.4	▲ 11.4	▲ 25.0	▲ 19.2	▲ 25.5	▲ 15.9	
原材料仕入単価	上 昇	71.1	59.1					
	不 変	26.7	38.6					
	低 下	2.2	2.3					
	D・I	68.9	56.8					
採算(経常利益)	好 転	6.5	4.4					
	不 変	52.2	62.3					
	悪 化	41.3	33.3					
	D・I	▲ 34.8	▲ 28.9					

#### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

##### 【今期実施内容】

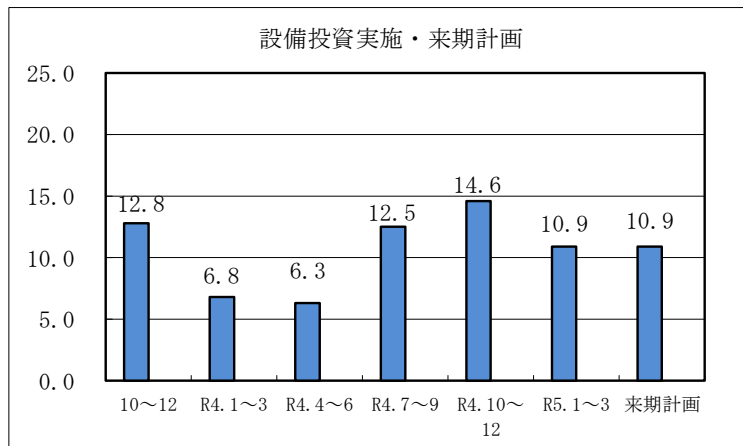
回答46事業所の内、5事業所(10.8%)が実施。

●生産設備=4事業所、●車両運搬具=3事業所、●工場建物、OA機器、その他=各1事業所

##### 【来期計画内容】

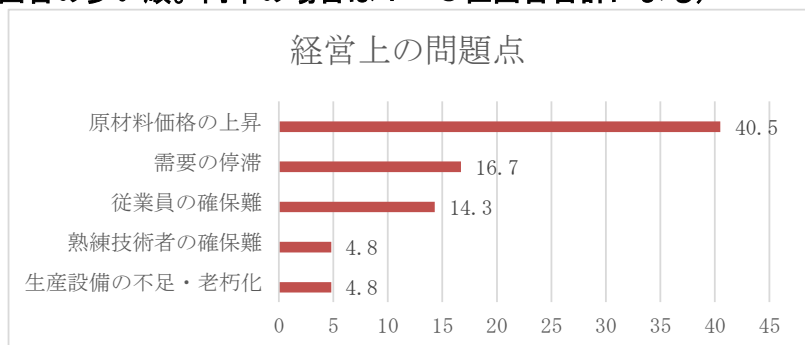
回答46事業所の内、来期に5事業所(10.8%)が計画。

●生産設備=4事業所、●OA機器=2事業所●工場建物、付帯施設=各1事業所



#### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より8.3ポイント減少している。2位は前回3位の「需要の停滞」で5.1ポイント減少している。3位は前回2位の「従業員の確保難」で2.7ポイント増加している。4位は前回同様の「熟練技術者の確保難」で0.1ポイント増加した。5位は前回4位の「生産設備の不足・老朽化」で0.1ポイント増加した。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 4-6	R4. 7-9	R4. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	15.6	4.4	16.7	10.4	10.4	9.1	11.1
	不 変	64.4	68.9	62.5	72.9	68.8	65.9	66.7
	悪 化	20.0	26.7	20.8	16.7	20.8	25.0	22.2
	D・I	▲ 4.4	▲ 22.3	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 15.9	▲ 11.1
完成工事 (請負工 事) 額	増 加	28.9	15.6	22.2	39.6	33.3	15.6	
	不 変	48.9	57.7	44.5	39.6	37.5	44.4	
	減 少	22.2	26.7	33.3	20.8	29.2	40.0	
	D・I	6.7	▲ 11.1	▲ 11.1	18.8	4.1	▲ 24.4	
資金繰り	好 転	13.6	4.5	2.2	8.5	10.4	2.3	
	不 変	77.3	77.3	84.5	83.0	75.0	84.1	
	悪 化	9.1	18.2	13.3	8.5	14.6	13.6	
	D・I	4.5	▲ 13.7	▲ 11.1	0.0	▲ 4.2	▲ 11.3	
材 料 仕入単価	上 昇	72.7	59.1					
	不 変	27.3	40.9					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	72.7	59.1					
採算(経 常利益)	好 転	11.1	8.9					
	不 変	62.2	55.5					
	悪 化	26.7	35.6					
	D・I	▲ 15.6	▲ 26.7					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

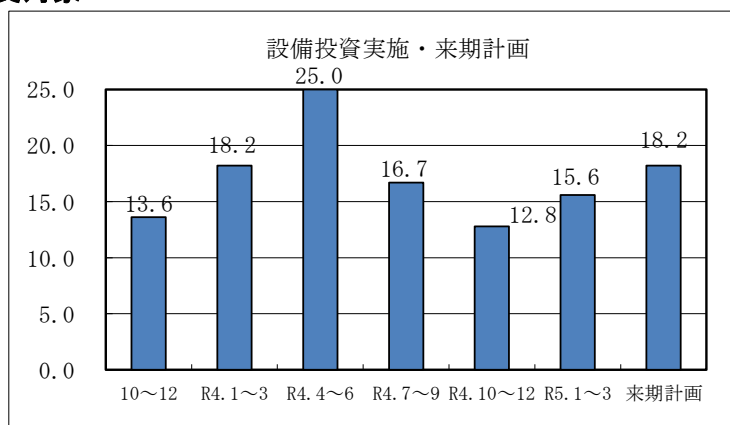
回答46事業所の内、7事業所(15.2%)が実施。

●車両・運搬具=5事業所、●建設機械=3事業所、●土地、建物、OA機器、福利厚生=各1事業所

【来期計画内容】

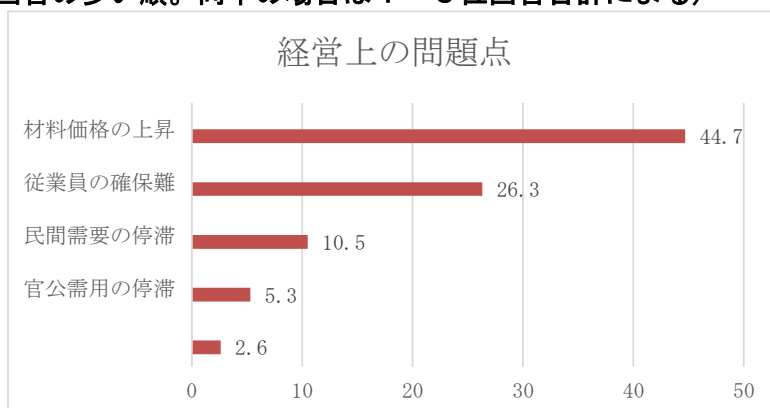
回答48事業所の内、来期は8事業所(17.3%)が計画。

●車両・運搬具=4事業所、●建設機械=3事業所、●建物、OA機器=各2事業所、●土地=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で2.8ポイント増加した。2位も前回同様の「従業員の確保難」で5.4ポイント増加した。3位は前回4位の「民間需要の停滞」で3.5ポイント増加した。4位は前回5位の「官公需用の停滞」で1.7ポイント減少した。5位は前回3位の「熟練技術者の確保難」で4.4ポイント減少した。



## 小 売 業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今 期	来 期 見 込	R4. 4-6	R4. 7-9	R4. 10-12	今 期	来 期 見 込
業 況	好 転	6.4	5.1	6.7	7.3	7.3	3.8	9.0
	不 変	43.6	50.0	54.6	58.6	50.0	48.8	51.3
	悪 化	50.0	44.9	38.7	34.1	42.7	47.4	39.7
	D・I	▲ 43.6	▲ 39.8	▲ 32.0	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 30.7
売 上 額	増 加	16.7	11.5	20.0	26.5	23.2	12.8	
	不 変	34.6	38.5	40.0	36.2	39.0	39.8	
	減 少	48.7	50.0	40.0	37.3	37.8	47.4	
	D・I	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 10.8	▲ 14.6	▲ 34.6	
資 金 繰 り	好 転	2.7	5.4	5.0	3.6	0.0	2.7	
	不 変	56.8	55.4	66.2	69.9	65.4	64.9	
	悪 化	40.5	39.2	28.8	26.5	34.6	32.4	
	D・I	▲ 37.8	▲ 33.8	▲ 23.8	▲ 22.9	▲ 34.6	▲ 29.7	
商 品 仕 入 単 価	上 昇	62.8	56.4					
	不 変	34.6	35.9					
	低 下	2.6	7.7					
	D・I	60.2	48.7					
採 算 (経 常 利 益)	好 転	7.8	5.2					
	不 変	41.6	45.4					
	悪 化	50.6	49.4					
	D・I	▲ 42.8	▲ 44.2					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

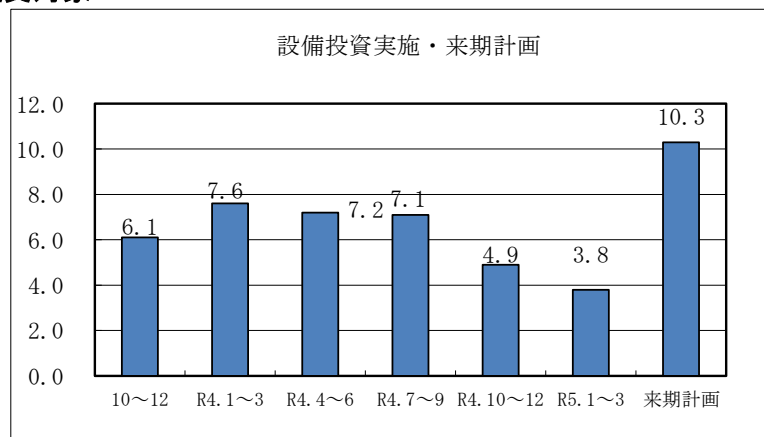
回答78事業所の内3事業所(3.8%)が実施。

●OA機器=2事業所、●販売設備=1事業所

#### 【来期計画内容】

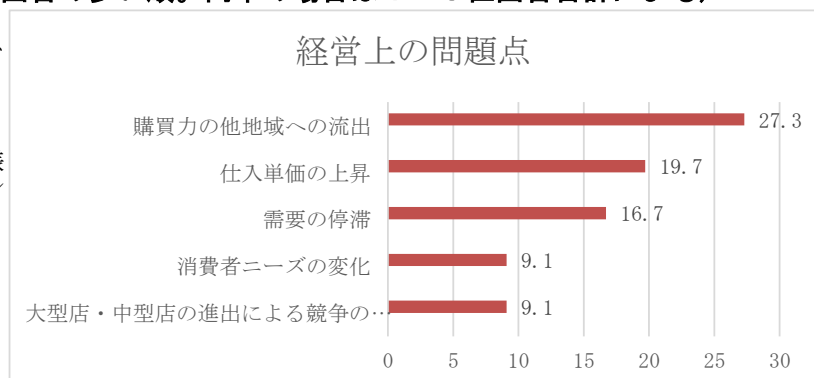
回答78事業所の内、来期は8事業所(10.2%)が計画。

●販売設備、車両・運搬具=各4事業所、●店舗=2事業所、●OA機器、その他=各2事業所



### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位の「購買力の他地域への流出」で、前回から2.3ポイント増加した。2位は前回1位の「仕入単価の上昇」で6.7ポイント減少した。3位は前回同様「需要の停滞」で2.7ポイント減少した。4位は前回同様「消費者ニーズの変化」で2.2ポイント増加。5位も前回同様「大型店・中型店の進出による競争の激化」で3.5ポイントの増加となっている。



## サービス業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 4-6	R4. 7-9	R4. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	8.7	9.6	11.7	12.3	4.7	5.8	10.6
	不 変	51.9	54.8	60.1	60.3	64.2	53.8	58.6
	悪 化	39.4	35.6	28.2	27.4	31.1	40.4	30.8
	D・I	▲ 30.7	▲ 26.0	▲ 16.5	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 20.2
売上(収入)額	増 加	28.6	18.1	25.7	26.9	11.9	14.3	
	不 変	34.3	43.8	45.9	45.3	48.7	38.1	
	減 少	37.1	38.1	28.4	27.8	39.4	47.6	
	D・I	▲ 8.5	▲ 20.0	▲ 2.7	▲ 0.9	▲ 27.5	▲ 33.3	
資金繰り	好 転	1.9	2.9	6.5	8.5	2.8	1.0	
	不 変	69.3	64.4	71.1	70.7	69.2	71.8	
	悪 化	28.8	32.7	22.4	20.8	28.0	27.2	
	D・I	▲ 26.9	▲ 29.8	▲ 15.9	▲ 12.3	▲ 25.2	▲ 26.2	
仕入単価(材料等)	上 昇	66.3	60.2					
	不 変	31.8	36.9					
	低 下	1.9	2.9					
	D・I	64.4	57.3					
採算(経常利益)	好 転	9.5	6.7					
	不 変	43.8	45.7					
	悪 化	46.7	47.6					
	D・I	▲ 37.2	▲ 40.9					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

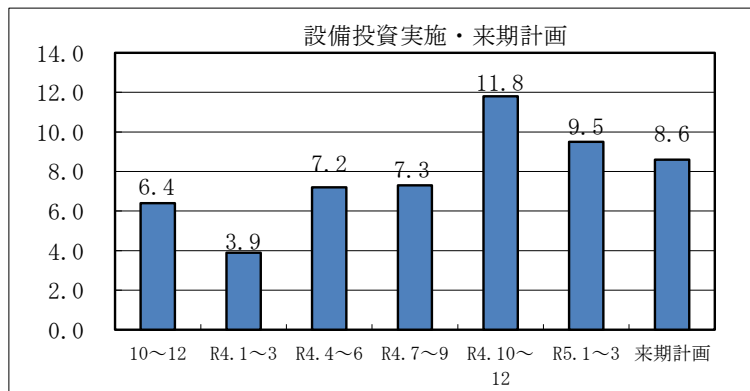
回答105事業所の内、10事業所(9.5%)が実施。

●その他=3事業所 ●建物、サービス、車両・運搬具、OA機器=各2事業所、●付帯施設=1事業所

#### 【来期計画内容】

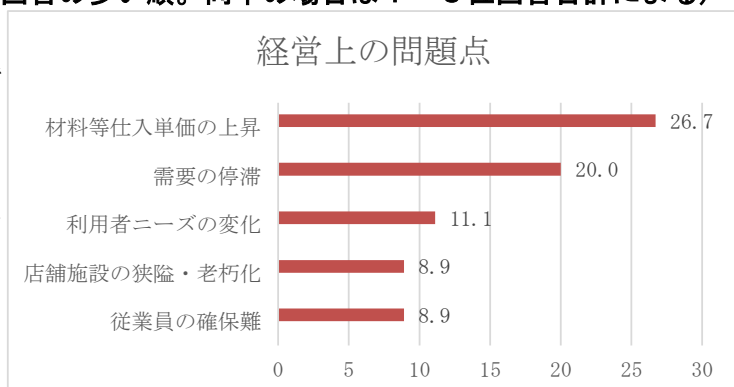
回答105事業所の内、9事業所(8.5%)が計画。

●車両・運搬具=5事業所、●付帯施設=3事業所、●土地、建物、サービス、その他=各1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位の「材料等仕入単価の上昇」で、4.1ポイント増加している。2位は前回1位の「需要の停滞」で9.0ポイント減少した。3位は前回同様の「利用者ニーズの変化」で1.4ポイント増加した。4位は前回同様「店舗施設の狭隘・老朽化」で0.3ポイント増加した。5位は前回番外の「従業員の確保難」で3.5ポイント増加した。



#### 4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

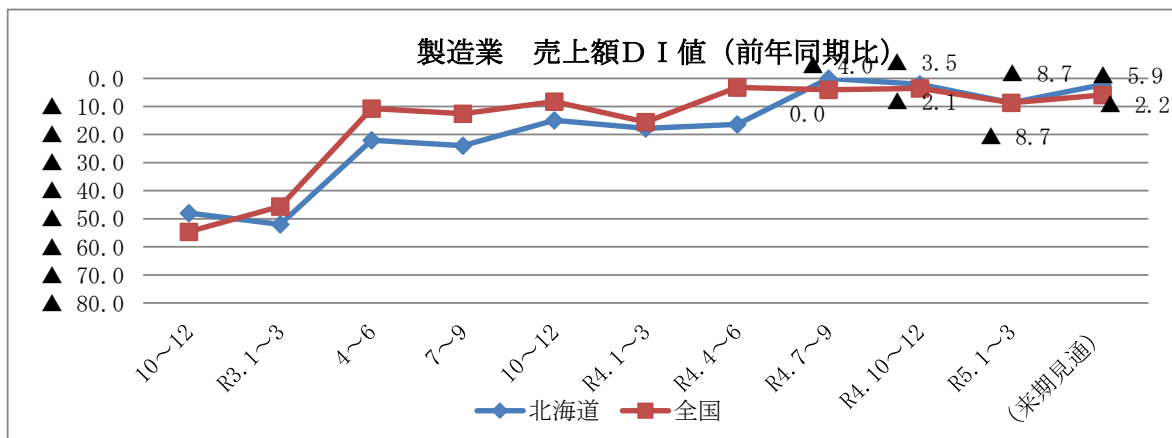
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

##### 製造業

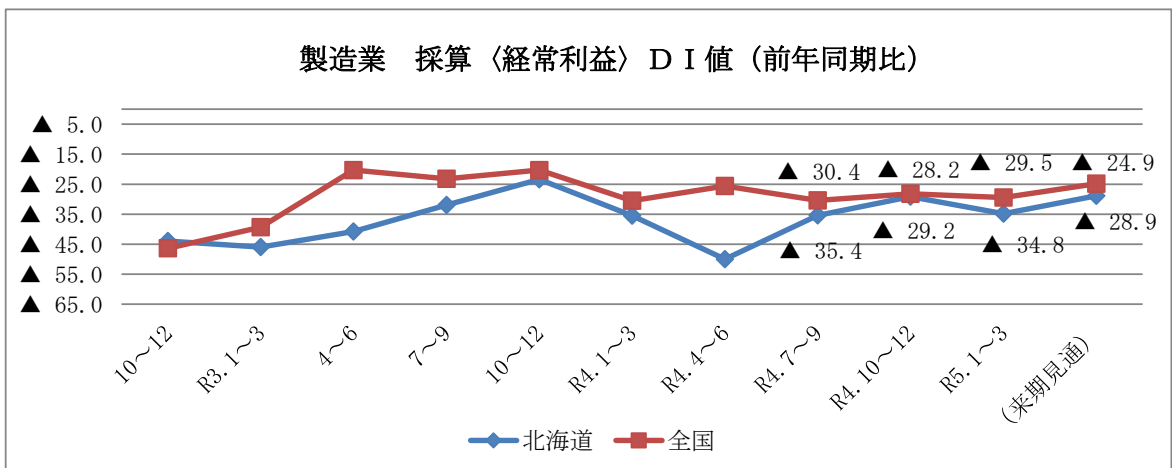
【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇  
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

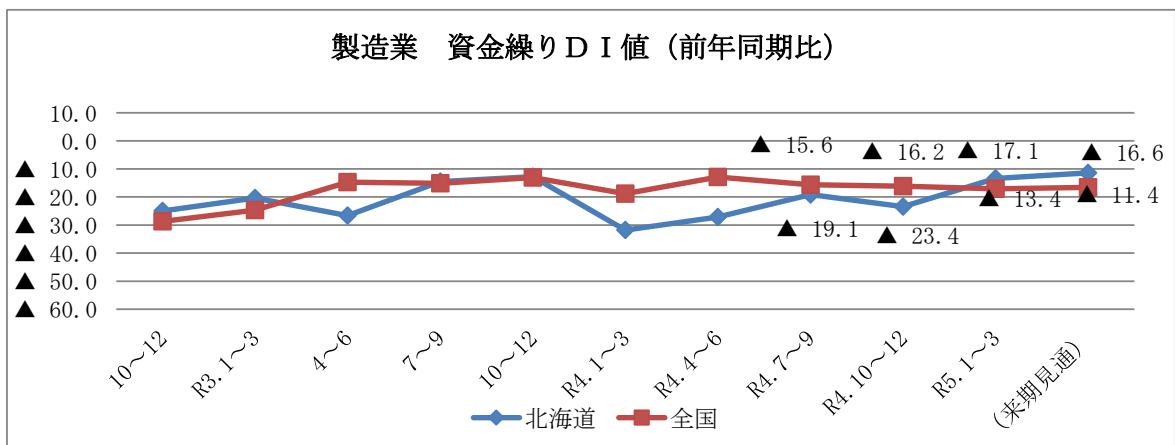
##### 売上額



##### 採算



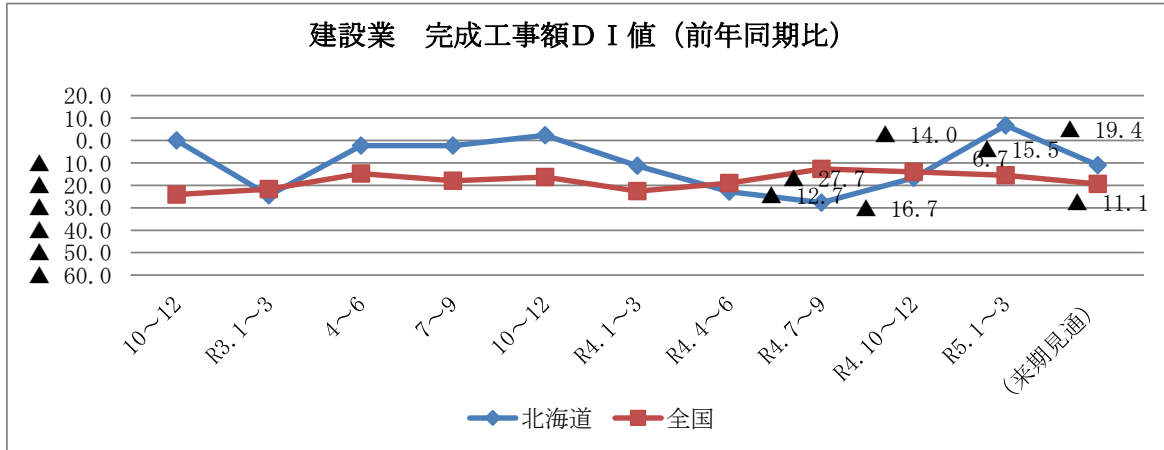
##### 資金繰り



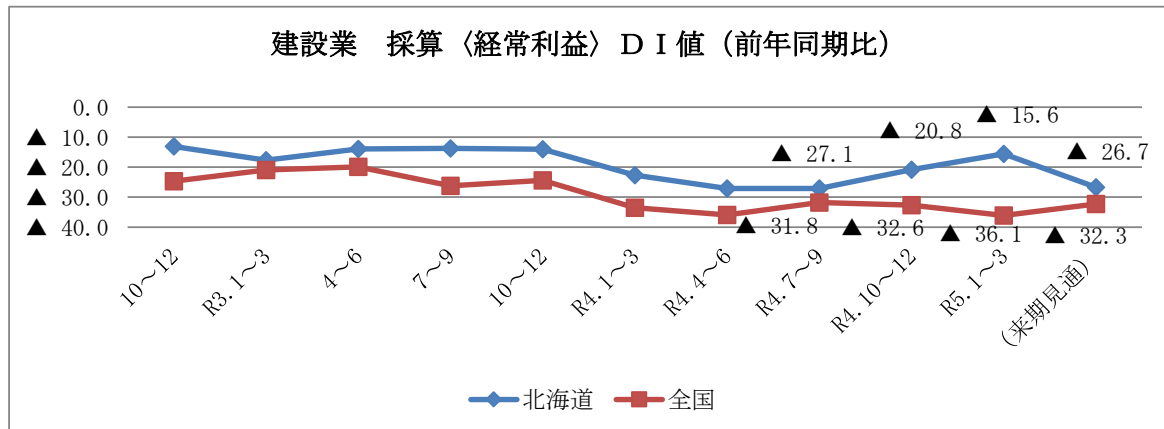
**建設業**

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇  
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少

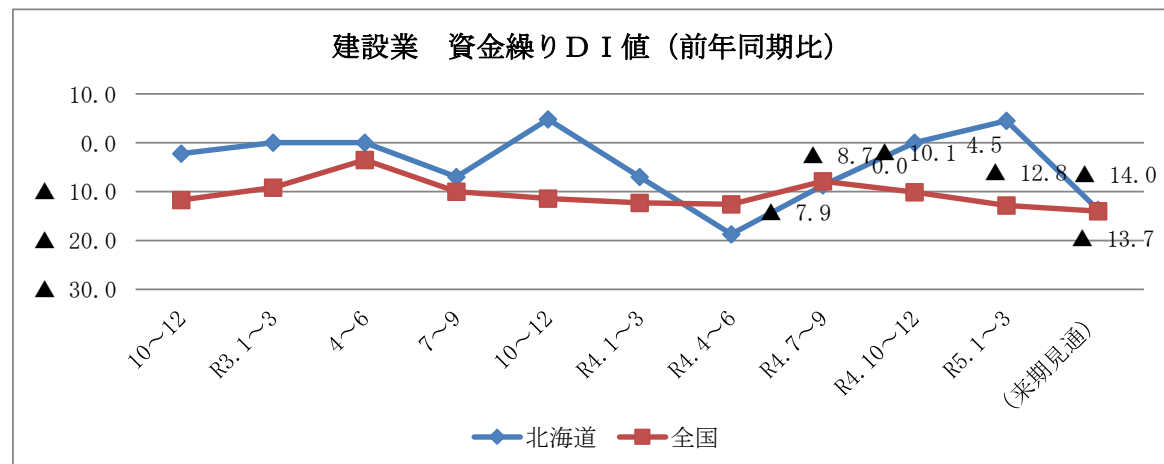
完成工事額



採算



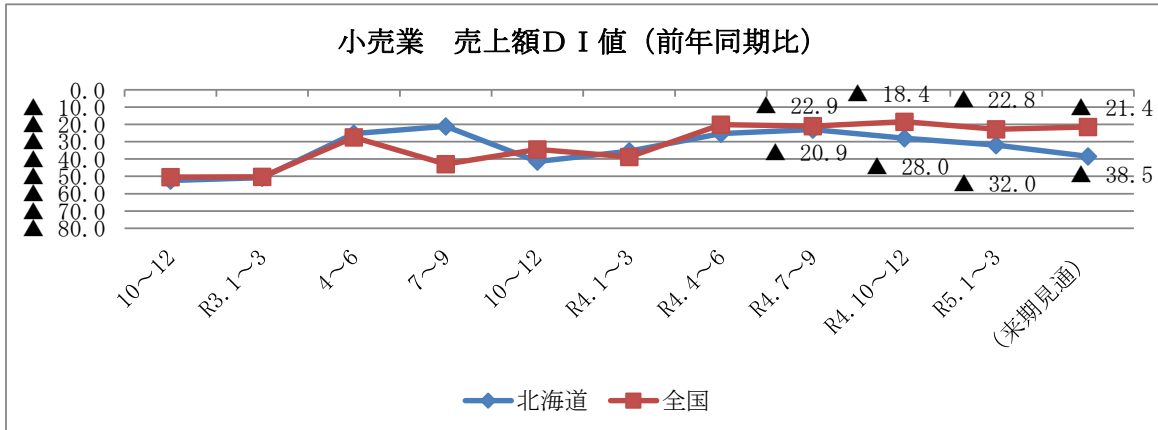
資金繰り



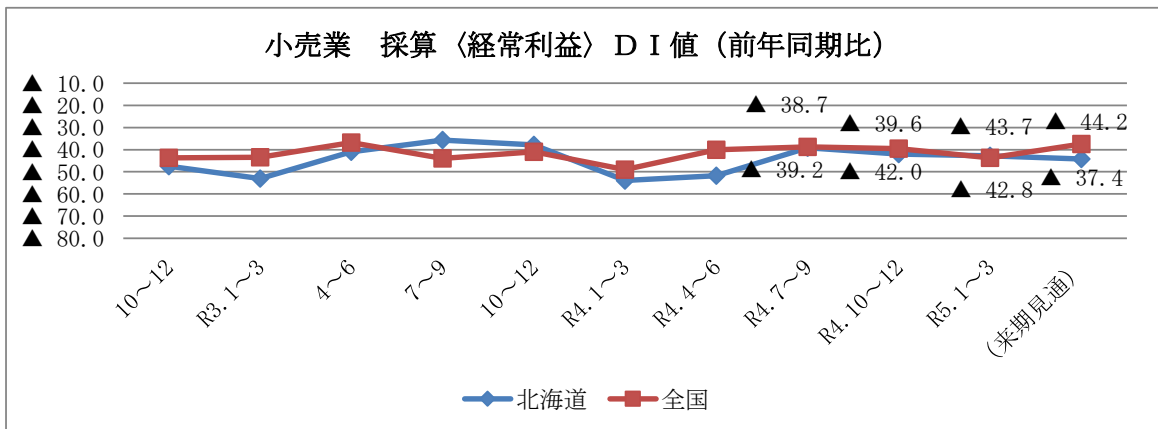
**小売業**

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇  
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

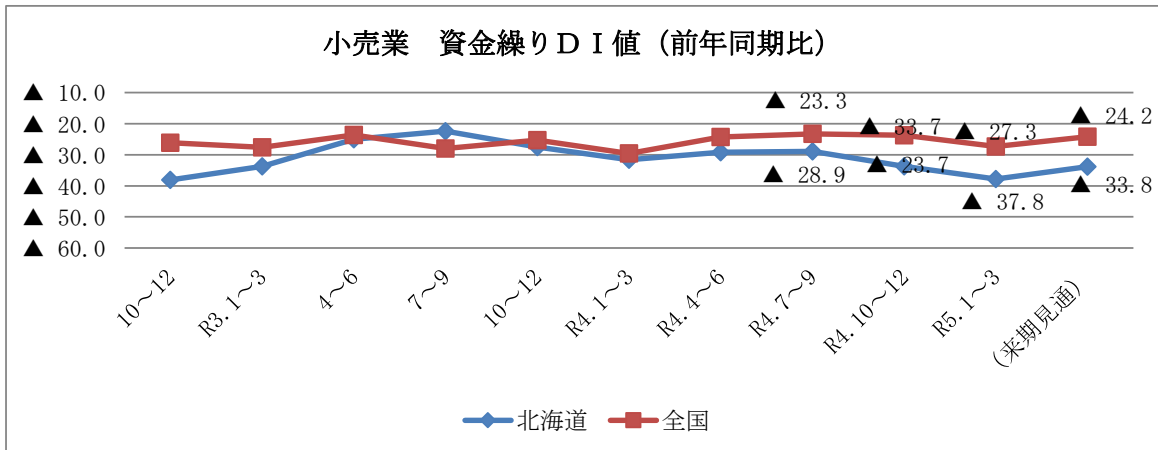
売上額



採算



資金繰り

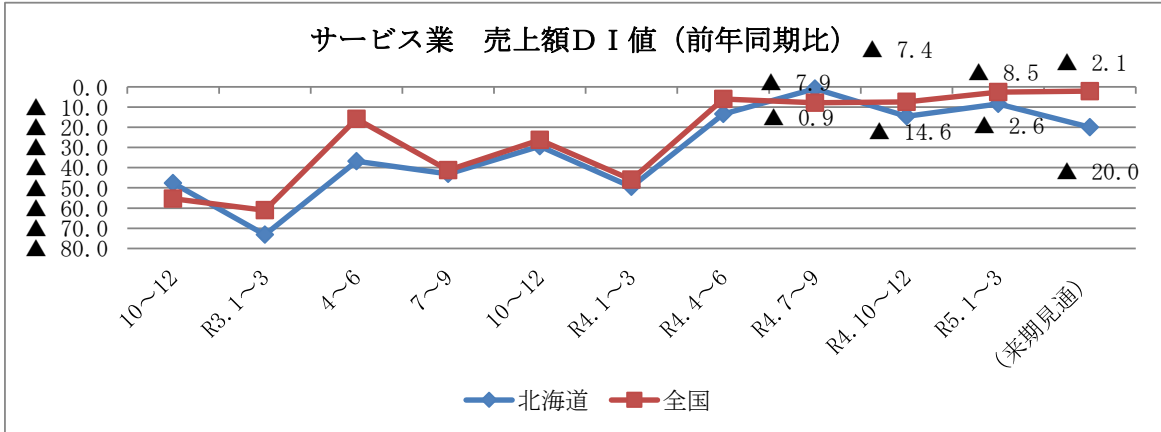




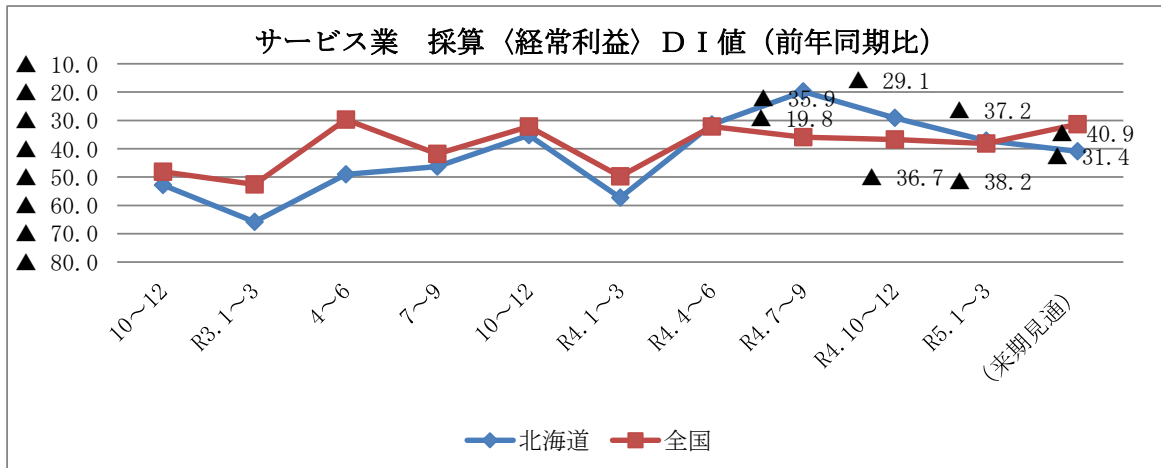
## サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少  
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

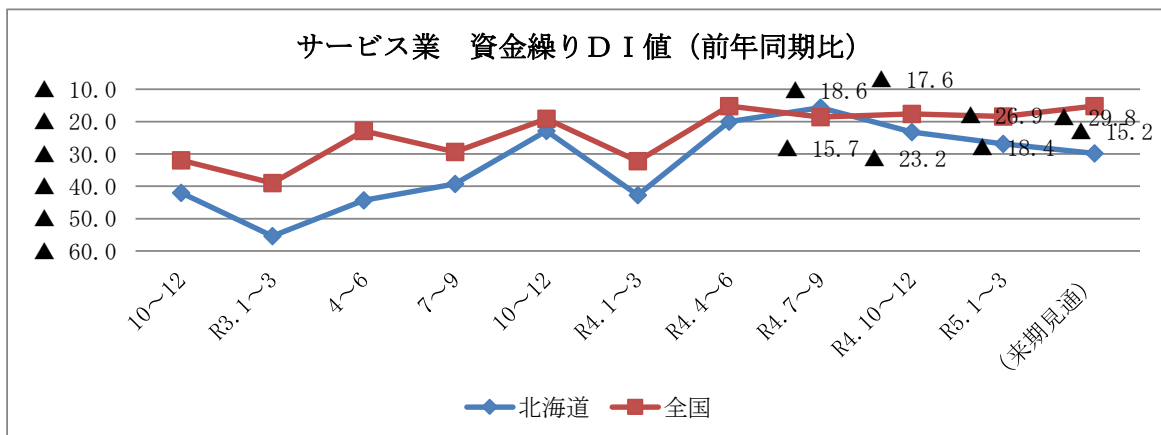
### 売上額



### 採算



### 資金繰り



## 5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○新人さんが退職して、人数は元通りになりましたが、仕事はどんどん入ってきて、忙しい状態です。生産力が現人数では限界なのが悩みですが、現状維持です。来春、息子が入社予定なので1年この体制で頑張ります。</p> <p>○売上は日々安定してきている。今春からの賃上げが大きく、ニュースで取り上げられているが、実現されることを期待している。このまま値上げのみが続くと消費者マインドが低下しかねないので不安です。</p> <p>○順調に推移しています。2022年9月～12月の経営状況は特に変化ありません。</p> <p>○公共事業の予算削減が予想される。</p> <p>○引き合いは変化ないが、客単価が下がってきているため、何かしらのアプローチが必要と考える。</p> <p>○物価上昇に伴い、ニーズと購買力が低くなり不変とした。戦略戦術の変更が必要なのだがそれがわからない状況です。</p> <p>○度重なる原材料の高騰に加え、光熱費や燃料費等の負担額が激増している。その全てを売価に転嫁できる訳ではない。</p> <p>○昨年の原料事情がひどすぎて、今年こそはと思っていたが、国産鶏を中心に引き続き品薄、価格高騰が続いている。ただ道外の新規顧客獲得の成功やコロナウイルスの5類引き下げにより来季は売上増加を期待できる。</p> <p>○原材料価格の上昇が続いている事、それに伴い売値を上げたいが、原材料が上がるたびに上げることができない状況である。また、物価上昇に伴い、菓子のニーズが変化し、来客が減っている印象である。</p> <p>○電気料金の値上げ、原料、資材の高騰でコストアップがあるが、コロナ緩和で催事の売上も向上してきている。今年は小売で、地域のお客様の開拓に重点を置き、クオリティの高い商品開発で売上を向上させる。</p> <p>○サケの水揚げ増により、ブリなど当社の取り扱う鮮魚の数量が増え、売上が伸びた。今後も水揚げ増に期待している。</p>
建設業	<p>○昨年1月頃より計画していた案件が10月頃までに竣工した為、表面上は増益増収ながら、他案件が延期となり、3月以降の民需の目途が立ちません。来期は仕事量が減少し、採算難が悪化、厳しい状況が予想されます。</p> <p>○活発な投資により地域の建設需要に支えられている。維持工事の需要も大きい。</p> <p>○売上減少が変わらない。</p> <p>○材料また燃料等の増加が収益に影響している。</p> <p>○従業員不足。</p> <p>○深刻な増収減益の可能性が強いです。電気・燃料代の高騰による原価上昇分を価格に反映できず、人手不足の中、インボイスにより事業停止する建設業の一人親方や労働時間の長時間化や人手流出解消に高単価を反映できない。</p> <p>○景気が好転していると言われているが、実感は全くなく、ゼロカーボン、DX化など求められることが急激に増加している上に材料・燃料が高騰し続け、また賃金のアップ、支出が増え続け、利益が確保しにくい。</p> <p>○とにかく、人手不足が深刻で、工事の施工内容が限られてきている。資材の単価上昇も続き、利益率が下がり、経営がますます厳しい状況になっている。</p>
小売業	<p>○初売り初日から吹雪で、あくる日3日は猛吹雪のため、前代未聞のお客様ゼロでした。その後も衣料品の売上に関しては、ほぼなしの状態です。先行きが不安で、日々もんもんとしています。</p> <p>○コロナ禍も低下して2類から5類へ区分変更もあり人流が戻り始めて、数年前とまではいかないが、イベント等が再開されて好転を期待している。</p> <p>○昨年はまん防が適用され、取引先の休業が多く、売上が伸びませんでした。今期は少しずつですが改善されてきています。来季は統一地方選挙もあり、売上に期待しています。</p> <p>○物価、光熱費の上昇による経費圧迫、コロナ以前の営業利益が見込めない。</p> <p>○町の人口が減少していることは確かですが、お客様の来店数は昨年と比較しても増加しております。今年は新規ユーザーと既存ユーザーのバランスを常に確認し、消費者ニーズに対応していくことが売上維持の秘訣だと思います。</p> <p>○ほとんどすべての原材料が値上げの中、自社商品の値上げが追いつかず、利益が出づらい状況が続いています。</p>

<p>小売業</p>	<p>○商品の材料費が上がっているのが厳しい。仕入策の減少が厳しい。  ○光熱費、物価上昇に伴い、消費者が食料品を買い換えているので売上が悪化している。さらに仕入単価が上昇しているので大変厳しい状況です。  ○原料及び資材原価の高騰により価格転嫁の時期を検討している。また光熱費の高騰によるランニングコストの圧迫も重なり、業績は伸びているが利益率は下降している。来るべきタイミングでの価格訂正を実施したい。</p>
<p>サービス業</p>	<p>○固定費の上昇が、なかなか厳しい。  ○何もかもが高すぎて、利益に結びつかない。値上げすればすべて良くなるわけじゃない。安いからお客が来るわけで客が減れば身も蓋もない。  ○電気代値上がりによって悪い影響がでなければいいが、、、と懸念しております。（電気代だけではないですが）  ○材料の値上げ、天候の悪化等すべて不安。  ○コロナが落ち着き、客数も戻ってはいるけど、利用者の単価が下がっている。以前みたく高齢も重なって、パーマやカラーの需要がなくなってカットのみの利用が増えているので売上は下がっている。  ○燃料と材料費が値上がりして、これからの利益を考えた場合が一番不安です。  ○ロシアのウクライナ進行の影響で、材料費、燃料費が増加し、先行きが不透明である。  ○事業主の多忙化により（議員活動）なかなか収入が得られていない現状がある。特に個人のお客様の対応もおろそかになりがちなので業務の効率化、そしてインボイスに向けての準備が必要と感じる。  ○前期との比較では不変と判断したが、前年同期と比べると悪化。その判断は40年来勤務していた従業員の死亡退職が大きく影響している。人員確保もさることながら技術者の補充ができていない業況が弊社にとって厳しい。  ○少しずつ良くなって来ている感があるが、状況は続くのではないかと思う。  ○まだコロナの影響が多少あるから今後落ち着き人流が増えることを期待している。  ○1～3月期は通年の販売製品の製造を行う時期であり、物価高騰の影響を強く受けている。また前期と比べて販売先が少なくなる時期のため資金繰りに苦慮している。ただ、来季はコロナの影響がなくなり、需要増を期待している。  ○引き続き高齢者チケットが好調、夜間の利用は減少したままなので営業時間の変更も考えなければならない状況です。</p>
<p>サービス業</p>	<p>○原材料や光熱費がどんどん上がり、販売価格の値上げが難しい。客単価を上げるためのメニュー開発に苦労している。  ○資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。  ○公共事業がない為、業者さんの宿泊がなく、売上が見込めません。原油価格高騰による経費や仕入単価の増加で厳しい状態です。  ○農業の不況により前年10月11月期にそれぞれの10%位の売上の減少がありましたが、現在は前年並みに戻りつつあります。電気料金の値上げが灯油代の値上がりよりも大変です。コロナの影響も落ち着いて来ました。  ○諸材料、光熱費等の高騰でかなり厳しい状況ではあるものの料金値上げは客離れが心配でなかなか踏み切れないのが現状である。  ○コロナにより新規事業が停滞してしまって、営業売上が落ち込んで持ち直していないのに、返済が始まり資金繰りがとても大変です。</p>